

住みよい
葉山町へ

「くらしを守ってほしい」 「議会をシャキッとさせて」

みなさんの願い実現へ
もう一度、働かせてください。



前葉山町議会議員

近藤昇一

こんどう しょういち
▼1949年生まれ、葉山小・葉山中、追浜高校、中央大学卒／長柄町内会相談役、神輿保存会／家族は妻と1女／自宅は堀内
▼25歳で初当選。町議8期。議会運営委員会委員長、総務建設常任委員長、ごみ問題特別委員長などを歴任。

福祉と防災のまちづくりをすすめます

ごあいさつ
町民のみなさん、近藤昇一です。暮らし向きはいかがでしょう。先の町議選では、みなさんの期待にこたえられなく、申し訳ありませんでした。
いま、野田政権は国民負担を重くする政治をすすめています。大企業への減税、ムダな大型公共事業、政党助成金などをそのままにして、震災復興を口実に庶民増税を強めています。また、医療費負担を増やす計画を出し、年金支給年齢引き上げ、支給金額引き下げ……。こんなひどい国の政治を、私は許すことができません。
国の政治がひどいときだからこそ、町民の暮らし、福祉をまもるために、町と町議会は力をつくすべきではないでしょうか。
また、津波・防災対策、ごみ処理問題など課題が山積み、町と町議会の役割はますます大きくなっています。みなさん、私は、町議会議員8期32年の経験をいかし、議会に活を入れ、福祉の充実、環境にやさしい安全で住みよいまちづくりに全力でとりくみます。私に、みなさんの願いを託してください。もう一度働かせてください。

くらし福祉

- 国民健康保険料の年2万円の引き下げ
- 中学卒業までの医療費無料化をすすめ、所得制限をなくす
- 介護保険料、利用料の減免
- 高齢者・障がい者の医療費負担軽減
- 就学援助金の拡充、奨学金制度の復活



地震・津波防災対策

- 津波遡上対策、避難計画、避難経路整備など津波対策、防災無線の拡充など町民参加の地域防災計画の見直しを促進



真名瀬漁港

県が東日本大震災を受け、津波想定を見直し、防波堤では防げない新たな浸水予測図の素案を公表、相模湾のプレート（岩板）境界部の「相模トラフト」を震源とする地震、内陸部の活断層による地震など3地震を想定。鎌倉で最大1.4mをこえる津波の危険性も高いと指摘されています。沿岸自治体に避難計画などの見直しを促しています。葉山町は全長4kmの海岸線があり、津波の遡上対策、避難場所、避難道路の整備などが急がれます。

ごみ減量資源化へ

- 町民、行政が力を合わせできるところから推進
まちのごみ処理問題は深刻で、資源化・減量化はまったなし。いまこそ分別収集の徹底、資源ステーション設置など、町と町民が力をあわせできることからすすめるときです。他市、民化委託に頼らず、小規模炉の建設も視野に入れることも検討する必要があります。ごみ問題解決にむけ、町議会の役割は重要です。



「住民こそ主人公」つらぬく **日本共産党**

2012年1月15日
葉山町の政治戦

町長・町議補欠

日本共産党の見解を紹介します。



葉山町長柄799
電話875-9619
2011年12月号外